「今、社会に求められているアタッチメントの力」シリーズ 最終回

企画／一般社団法人 日本アタッチメント育児協会

助産学専攻科がスタート

宝塚大学 大阪梅田キャンパス

「アタッチメントヨガ」&「アタッチメントベビーマッサージ」インストラクター資格取得をカリキュラムに導入

幅広い役割担える助産師養成

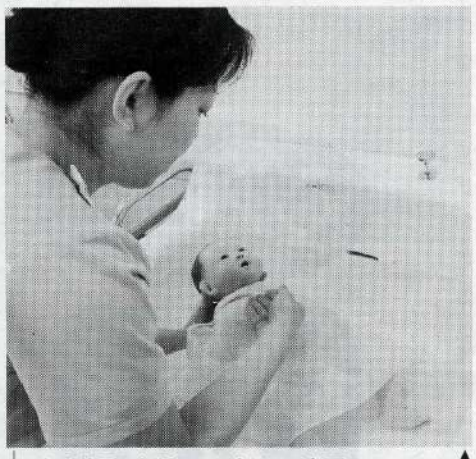
宝塚大学は看護学部に加え、新たに助産学専攻科を新設する。近畿圏には助産師を養成する大学が少なく、大阪府では初の助産学専攻科誕生となる。

「保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部が11年に改正され、保健師と助産師の基礎教育における修業年数が『6か月以上』から『1年以上』に延長されました。このため、大学4年間の中での修業が難しくなり、1年課程の専攻科を新設することにしました。大阪という地域の特性を踏まえ、幅広い役割が担える助産師の養成に取り組んでいきたいと思います」と柴田氏は話す。

大阪府はHIV感染者数が全国第3位、児童虐待の相談件数が全国平均の約2倍と多く、母子保健や思春期保健に携わる専門職の必要性が高い。このため、助産学専攻科の新設は地域からも期待されている。

助産学専攻科の新設に際し、同学部ではアタッチメントベビーマッサージとアタッチメントヨガのインストラクター資格の取得をカリキュラムに導入した。その理由について柴田氏は「本学は芸術と科学の協調を建学の理念に掲げており、看護学部では芸術的な要素、つまり技を取り入れた科目を用意しています。助産学専攻科にもこの理念を生かし、分娩介助技術に加えてベビーマッサージやヨガを助産師の技術の1つとして身に付けてもらい、女性支援のための活動ができる助産師を養成していきたいと思います」と語る。

宝塚大学看護学部
柴田 恭亮教授
（副学長／学部長）



助産学専攻科での沐浴の演習（イメージ）

インストラクター養成課程を導入するに当たり、同学部では教員2人にベビーマッサージ、1人にヨガのトレーナー資格を取得させるなど、1年がかりで開学の準備を行ってきた。両資格とも講義と実技、演習など30時間かけて取得させる。

近年、助産師は分娩の場面だけでなく、女性を中心とした家族支援にまでその役割が広がっている。

「少子化や核家族化が進む中、子育て中の女性は孤立しやすい現状があります。アタッチメントヨガによって妊娠中から母子のアタッチメント（愛着関係）を育み、出産後はベビーマッサージでうまく赤ちゃんとの関係を作り、健全な母性を育てることで児童虐待を防ぐことができると思います。助産師は母親学級や両親学級、プレおばあちゃん講座などの講師も務めるので、父親や祖父母など家族支援にもかかわる仕事で、活躍の場が広がっています。アタッチメントを学ばせ、広い視野で活躍できる助産師を育てていきたいと思います」

■連載「子育てルネッサンス」最終回

「子育てを変えるチカラがある」

“アタッチメント”のミライ

日本アタッチメント育児協会理事長
廣島 大三

一年にわたり、全六回で連載してきた本コラムも今回で最終回となった。

医療、保育、地域の子育て支援、教育現場など様々な場面における「アタッチメント」について触れ、アタッチメントの「子育て」における重要性と可能性について語ってきた。

いま日本の「子育て」は深刻な局面を迎えている。虐待やネグレクトといった、わかりやすい問題だけではない。子どもを置き去りにして外泊してしまう母親や子どもを所有物のように自分の言いなりにしようとする親のように親本人に自覚のないケースの方がむしろ深刻だ。

こうした親が乳幼児期の子どもに与えるトラウマは心の病の種を植え付ける。それは思春期以降に「ひきこもり」や「うつ」といった形で現れる。しかし、当の親には自分が原因の大きな一端であるという自覚はない。

しかし事の本質は親そのものではない。バートン・L・ホワイト博士が言うように、親に適切な知識がないまま子育てが行われていることが危機的問題なのだ。

親は子どもが生まれると突然「親」になるわけではない。「子育て」を通して少しずつ「親」になっていく。そのプロセスこそが「アタッチメント」である。

アタッチメントとは、親が子育てをするうえで知っておくべき知識であり、子育ての智慧である。だからこそ、それを学ぶ場と機会が重要なのである。

本コラムで紹介したベビーマッサージ、キッズマッサージやマタニティヨガ、親子体操などの教室は、まさにそのための「場」である。その様な場でアタッチメントを知り、アタッチメントを感じることで親は親になり、子育てに、これまで想像もできなかった程の幸せを感じ、子育てを楽しむようになる。

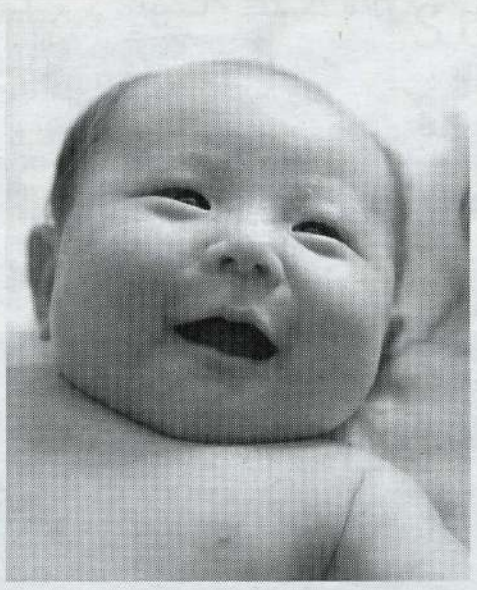
『アタッチメントには、未来の子育てを変えるチカラがある』

そのことを最後にお伝えして、このコラムを締めくくろうと思う。

最新刊、好評発売中！！
社会福祉法人恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所編集
日本子ども資料年鑑 2014
B5判 400頁 並製
CD-ROM付
価格9,450円（税込）

子どもに関するデータベース最新刊！
今年の巻頭特集は…
次世代へ羽ばたく子どもたち
～時代・社会の変化から見る子どもを取り巻く環境～
巻末資料
東日本大震災と子ども2
学力・犯罪・保育・医療・福祉・貧困問題等、各省庁や研究団体からバラバラに公表される、約1,000もの子どもに関するデータを集約。
CD-ROMには、本書全頁と子どもに関する資料をPDF形式にて集録。
KTC中央出版 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-14-14 TEL.0120-160377 FAX.0120-400377
詳細は，www.chuoh.co.jp/nenkan/

いま、看護師・助産師・保育士がもっとも取りたい資格！



アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター養成講座 育児セラピスト2級同時取得
ベビーマッサージ本来の目的である、お母さんが赤ちゃんと心を通じあわせ、『アタッチメントの形成』を促すことを重要視し、発達心理学をベビーマッサージに応用して、メソッド化したベビーマッサージを伝えるインストラクターを養成します。

アタッチメント・ヨガ（マタニティ・ヨガ／ベビー・ヨガ）インストラクター養成講座
妊婦さんがおなかの赤ちゃんといっしょに取組むことで、妊娠期からのアタッチメント形成が活発になり、マタニティブルーや産後うつなども軽減できる、マタニティヨガ、ベビーヨガを伝えるインストラクターを養成します。

アタッチメント・食育 インストラクター養成講座
食を通して、「体の成長」だけでなく「心の成長」や「知能の発達」を実現することを目的とした食育講座です。「食と子どもの成長」をテーマに、心理学・栄養学・歯学から子育てに必要な知見を学び、『親が本当に知りたい食育』を教えるインストラクターを養成します。

東京・大阪・名古屋・福岡・札幌 全国5都市で 定期 開催中！
土・日 2日間の短期集中講座
まずは資料をご請求ください
お電話の方はこちら 052-265-6526
メールの方はこちら info@naik.jp
インターネットの方はこちら アタッチメント 検索
「新聞を見た」と伝えて頂くと、スムーズです。
一般社団法人 日本アタッチメント育児協会
〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-15-14 パックス金山ビル4階